

熊阪台州著『遊盤陀山記』を読む③ ~現地フィールドワーク



半田山自然公園にて



小野隆庵墓所は桑折町新和町地域の眺めの良い高台に残る

「地域支え合い活動」
ご利用下さい

「ちょっとした日常生活上の困りごと」に協力する活動を行っています。現在の登録会員は、利用会員146名、協力会員120名です。

これからも随時会員の募集をしていますので、伊達中央交流館へお問合せ下さい。

電話 551-1285

《活動内容》

- ・ゴミ出し 1回
- ・片付け (15分)
- ・庭手入れ (15分)
- ・雪かき (15分)
- ・灯油入 1回
- ・電球交換 1回

……これまでの活動報告(令和3年4月~11月)……

- 利用依頼件数…23件
- 実際に協力できた件数…19件(回数にして57回)
※うち2件は毎週定期的にゴミ出しの活動
- 内容 可燃ゴミ出し…47回、資源ゴミ出し…6回、粗大ゴミ出し…2回、カーテンレールの取付…2回
※お手伝いできる範囲(1回15分程度の活動)を大きく超えるご相談(植木の剪定など)は、お受けできませんでした。

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第34号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
理事長 小野孝雄

熊阪台州の半田山登山の道筋を辿る

10月20日(水)、小野剛講師による3回シリーズの講座「熊阪台州『遊盤陀山記』を読む」の第3回目として、現地フィールドワークを開催しました。

江戸時代中期の漢学者・熊阪台州による半田山登山記に記されているスポットや、同行者であり台州の弟子である小野隆庵の墓所などを巡り、約250年前の当時の思いを馳せました。

また、猪俣好巳さんのガイドとともに半田山の北駐車場からの遊



かつては山崩れを繰り返していた半田山 現在の景観にもその傷跡が残っている

歩道を歩き、半田山の厳しくもロマンを秘めた自然の歴史を教えてくださいました。

台州の著書についてもっと知りたいという声も聞かれ、新鮮な学びがあった講座でした。

- 1面 『遊盤陀山記』を読む③・地域支え合い活動
- 2面 安達太良山トレッキング・ぐるっとだてー④・春に咲く寄せ植え教室
- 3面 宮沢賢治の文学世界⑥・2つDate VII 歴史探訪③・子ども農園
- 4面 おらが町内会パート3 川原町町内会・防災訓練・コラム

シリーズ
おらが町内会パート3
川原町町内会「自身の為に」と600回超え！
元気づくり会の活動

思い起こせば平成26年9月24日(水)当時の仁志田市長や健康福祉部次長、伊藤係長、藤原主任、そして元気づくり大学大平学長ご出席の下に、伊達市初の「元気づくり会」発会式。

諸々のセレモニーを終え、いよいよ第1回の元気づくり会を藤原主任「指導の下27名(男10名・女17名)でスタートした。平均年齢約74歳で最高年齢は86歳の男性である。当初は週2回で半年間も大丈夫なのかな?と思いつつのスタートであったが、直ぐに参加者は31人に増え順調に推移した。約3か月後に指導者が菅野主任へと変更になり、また新たな気持ちで楽しむことが出来た。そして約半年後の3月6日(金)がコーディネーターによる最終受講日となり、それ以降は皆が「元気づりリーダー」として自立することとなった。

(余談になるが、メンバーは伊藤さんを産婆さん、藤原さんを産みの親、菅野さんが継母。そして斎藤さんを叔母と皆思っている!かも?)

常々、全ては「自身の為に!」と、努力を重ね、平成27年10月に1000回、



600回達成を記念して

平成30年2月に300回、そして昨年7月10日(金)に節目の500回を達成。

「健康都市」の宣言から10年。あの笑顔が、その動きが元気の源と続けつつ、今年の9月末現在実績は、実施回数615回 延べ累計参加者は8013人の実績である。(会員33人)

昨年度市当局の指導もあり、約ひと月は自粛を余儀なくされたが、それ以外はメンバーの熱意に押され、このコロナ禍でもその対策をしっかりと行い、毎回集会所にて元気づくり体操を続けている。

5会場で立ち上げから丸7年。今では市内100数10ヶ所で繰り広げられている。そんなささやかな活動が、「健康都市宣言」の一助になればと、今日もまた皆元気に「自身の為に!」にと、楽しんでおります。

(川原町町内会長 在原 久明)

西地区防災訓練(防災学習会)

11月7日(日)、伊達西地区防災訓練を行いました。コロナ禍により今年度は交流館での全体訓練は行わず、各町内会での安否確認体制の確認と、町内会長(防災担当者)を対象とした学習会のみ実施しました。

防災学習会では、伊達市防災専門員の星智雄さんより、「台風19号に伴う被災・対応状況から学ぶ」をテーマに講話をいただきました。当時の状況を振り返り、必要な対策について情報共有をしました。今年9月から運用開始した防災アプリの紹介などもありました。参加者からは危険箇所についての懸念や災害時の情報提供について要望などの声が上がりました。



イオンモールの建設に思う

令和5年度の完成を目指して、西地区堂ノ内に現在道路などの基盤事業が進行している。

イオンモールの建設によって、西地区の経済活性化が進展することとは、地区民として望ましいことであるが、次の2点を指摘しておきたい。

- (1) 伊達商店街の復興再生を図る視点が必要ではないか。
- (2) イオンモールの完成により、雇用が推進され、特に若い人の労働力の需要が高まる。週末等が繁忙になることから、幼児や小学生を持つ住民に対するケアが必要と思われる。(休日開場の施設など)

(西地区町内会連合会長
鈴木 克良)

編集後記

峠は古今東西より文化の境界として存在している。内陸の伊達郷としては、太平洋沿岸の塩の生産地とは、峠を通じて重要な文化交流があった。文化のグローバル化は、生活物資の交易に始まる。今号掲載の丸森筆甫地区との交流の実態を知りたい。

(鈴木 克)



1回1回の内容が濃い講座でした

宮沢賢治の文学世界Ⅵ
11月16日(火)、福島大学名誉教授の高野保夫講師による7回シリーズの講座の第6回が開催されました。これで交流館での座学はすべて終了となりました。
今年度は初めてテーマを「銀河鉄道の夜」一作に絞り、シリーズ通して読み解いてきました。長いお話でしたが、段階的にじっくりと読み込むことで、作品に対する皆さんの思い入れも深まったようです。
来年度の開講を切望する声もすでに上がっており、充実した講座となりました。今年度のシリーズ最終回となる次の第7回は、希望者のみで賢治ゆかりの地への研修に赴きます。



資料の実物も見せていただきながらの解説

2らぶDateⅦ歴史探訪③
11月18日(木)、「伊達町史には載らない長岡のこまかい歴史」と題し、菊田正男講師にお話をいただきました。
菊田講師が調べあげた、町史にも残っていない文学作品や物品、町並みなどの興味深い資料を多数紹介していただきました。長岡と伏黒の先人が作った歌の貴重な音源も鑑賞しました。参加した皆さんも、身近にありながらも意識していなかった歴史に触れ、感慨深げな様子でした。
記録として残す人がいなければ忘れ去られてしまうであろう先人の生活の痕跡を、後世に残すべく尽力されている菊田講師の、歴史への情熱が感じられる講座でした。



重くて落としちゃいそうなサツマイモ



立派な長ネギ!



虫取りもして育てました



一列になって麦踏み



カー杯引つ張って



抱えきれないほどの落花生



子ども農園
毎月第2・第4金曜日の放課後に子ども農園を開催しています。
10月と11月はサツマイモ、落花生、ダイコンなど、楽しみにしていた収穫を行いました。サツマイモ掘りでは、1年生が持つには重たいくらい大きなイモが収穫できました。
落花生は大きなかたまりに育っており、子どもたちはなかなか抜けず苦労したり、一株の大きさに驚いたりしている姿が見られました。ひとり2本ずつ面倒をみていたダイコンも、両手で抱えなければ運べないほどに育っていました。
ほかにレタスやネギを育てたり、玉ねぎやニンニクを植えたりと、大忙しな秋の子ども農園でした。

安達太良山トレッキング

10月16日(土) 12名の参加者と佐藤静雄さん、岡本宣義さん、事務局2名のスタッフで、全山紅葉で燃えるような安達太良山を見よう、とゴンドラで登りました。残念ながら白いガスの中で視界が開けませんでした。いつか、きつと、と黙々と頂上を目指しました。頂上でも眺望はなく、沼ノ平の月面のような景色もあきらかに、下山しました。冷えた体を奥岳の湯(露天風呂もいー)でじっくりと温めることができました。次の機会に期待しましょう。



もやがかかって神秘的! 次はほんとうの空を!

ぐるっとだてー ③丸森町筆甫地区 ④女神山周辺

【第3回 峠道を歩く①】

10月27日(水) 梁川の白根を渡って、松坂峠で下車。福島と宮城の県境を確認し、丸森の筆甫に到着。筆甫地区振興連絡協議会事務局長の吉澤武志さんから「丸森町筆甫地区の限界集落 住民自治チャレンジ」のお話を伺いました。まず、「課題とニーズ」を抽出し、イノシシ捕獲大作戦・次世代育成・高齢者への声かけ、お助け隊・データー・保育事業・再エネ事業・「ひっぽのお店ふでいち」移動販売・ガソリンスタンド事業継承、と様々な頑張りに深く感銘しました。



↑筆甫地区唯一の食料品店「ふでいち」前



↑さまざまな挑戦を行っている筆甫のまちづくり

→「ふでいち」の中の交流スペース 昼はコーヒー、夜はお酒も

【第4回 峠道を歩く②】

11月24日(水) 一等三角点のある女神山に挑戦し、伊達市と川俣町の境界線を登りました。川俣町側から登り、小手郷に養蚕と機械織りを伝えた小千姫を供養する山と伝えられている。天気がよければ、吾妻、安達太良、半田山、蔵王、霊山と見えますが、今回は残念。七ツ森として親しまれている峰々の盟主女神山を堪能しました。川俣町の女神山を愛する会の蓮沼さんと安斎さんの案内でした。



↑女神山山頂にて



↑落ち葉を踏みしめて下山



↑飯野の千貫森を見、駐車場へ

春に咲く寄せ植え教室

10月29日(金)、山中厚子講師による、春に咲く花を使った寄せ植え教室を開催しました。
背の高いスカビオサや白いブラチーナ、秋から春にかけて楽しめるピオラなどを組み合わせ、見た目の色合いやリズムのある配置が楽しい寄せ植えを作りました。
参加した皆さんは先生に見栄えのよくなるコツや土のかぶせ方を教わり、時にはお互いにバランスを確かめ合いながら集中して作業を行っていました。



完成した鉢と一緒に



出来上がりをチェック

